



年間報告書 2024

熊本大学基金

ごあいさつ



地域と世界に開かれ、共創を通じて社会に貢献する 教育拠点大学

学長 小川 久雄

日頃より熊本大学基金への温かいご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

熊本大学は、明治20年(1887年)に設立された第五高等学校(五高)以来の歴史や伝統を守りつ

つ、国や社会、それを取り巻く国際社会の変化に応じて、スピード感を持って改革を進めています。
令和6年4月に、学部相当の教育組織としては熊本大学創設以来初めて、75年ぶりとなる「情報融合学環」を立ち上げ、工

学部には「半導体デバイス工学課程」を設置しました。また、令和8年度に「共創学環」、さらに附属学校に「国際クラス」を設ける予定としています。

そして、「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業(J-PEAKS)」という文部科学省の事業に今年1月に採択されました。「半導体実装から社会共創研究を通じて、地域イノベーションの実現と持続可能な産業都市構築を目指す」というもので、地

域の企業と共にイノベーションを実現しながら、そのための機能強化・大学改革を実行することになっています。
このように、熊本大学は、研究力の更なる向上、産学連携と地方創生の強化、そして国際化を重点的に推し進め、その成果

を大学の最も重要な使命である教育に活かしながら、個性ある創造的人材の育成に努めて参ります。
これらの推進には、安定した財政基盤が必要不可欠ですが、平成19年(2007年)10月に熊本大学基金を設立し、多くの皆

様からご支援を賜り、これまで学生の留学、課外活動の支援や学内建物の整備など多岐にわたる事業に充当させていただ

いています。また、生活に困窮している学生への奨学給付金等の経済支援にも活用しています。改めて御礼申し上げます。

熊本大学を支え応援してくださる皆様と、熊本大学が目指す姿を共有し、全学を挙げて大学の機能の強化と拡充を推進し

て参ります。
引き続き、皆様からのご支援、ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。



高まる大学基金の重要性

理事・副学長 大谷 順

平素より熊本大学基金を通じて多大なご支援を賜り、誠にありがとうございます。

令和5年度より基金同窓会担当を仰せつかりました、研究・グローバル戦略担当理事・副学長を務めて

います大谷 順と申します。
私は国内外を含め6つの大学に在籍した経験があります。海外の大学はもちろんですが、わが国のいわゆる国立大学法人

も現在基金についてはどこも積極的に進められており、全学的な教育・研究また施設等の充実に向けて大変重要な施策とな

っています。
特に学生の教育・研究環境を充実する上で、皆様からの温かいご寄附は欠かせない基盤であるとともに、大きな励みとなっ

ております。
この年間報告書は、熊本大学基金による2024(令和6)年度 of 取組状況を皆様にご報告するとともに、熊本大学並びに熊

本大学基金の取組をご理解いただくために作成しているものです。ここに掲載できております取組は一部であり、皆様方から

のご厚志は全学においての貴重な資源であり、幅広い支援に活用させていただいております。
今後も新たな時代に向けて、教育・研究・医療分野での活動をさらに加速させ、未来への先導者としてグローバルに活躍で

熊本大学基金実績

熊本大学基金は、知の創造、継承及び発展を通じて豊かな未来を拓くため、熊本大学の財政基盤の強化を図り、教育、研究、社会貢献等に関する活動の推進及び教育研究環境の整備・充実に資することを目的として、平成19年(2007年)に設立されました。これまで多くの皆様からご支援を賜り、奨学金、留学支援、課外活動支援、学内建物の整備など多岐にわたる事業に充当させていただきました。

今後も皆様から頂戴した貴重なご寄附は、全学的な事業や各学部等の支援事業などを通じて、熊本大学の教育・研究環境の更なる改善・発展に活用させていただきます。

令和6年度は、個人**738**名、**71**法人・団体より
総額 **106,780,824**円のご寄附を頂戴しました。

一般資金	190件	45,029,523円
特定資金※	619件	61,751,301円
寄附総額	809件	106,780,824円

※使途を特定した寄附金

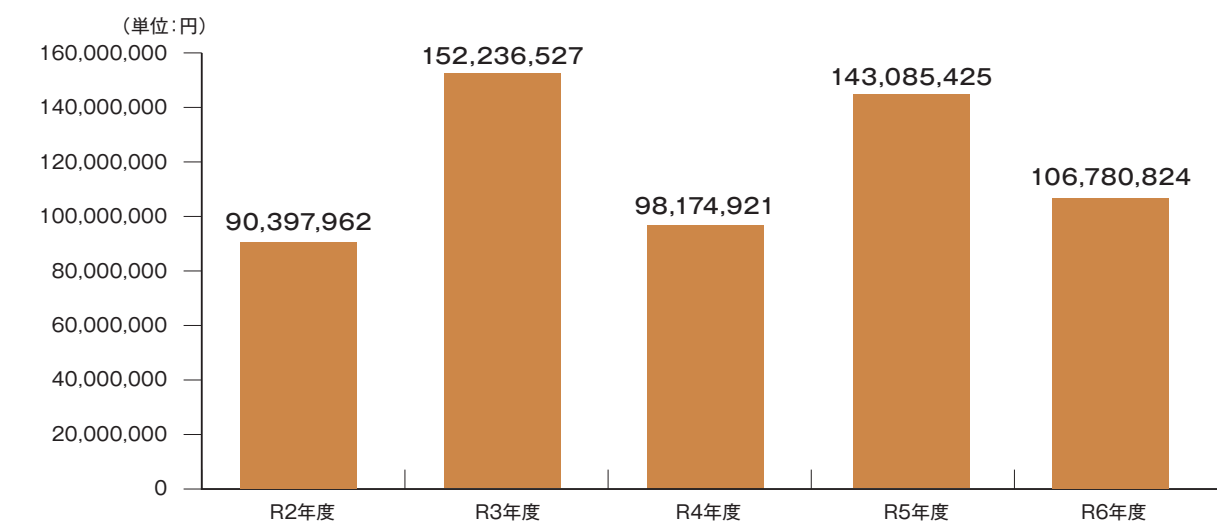
寄附累計額

(単位:円)

R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
1,554,547,106	1,706,783,633	1,804,958,554	1,948,043,979	2,054,824,803

令和2年度～令和6年度 基金収入状況比較

寄附金額



(単位:円)

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
寄附金額	90,397,962	152,236,527	98,174,921	143,085,425	106,780,824



ダイセル基金修学支援奨学金

令和5年5月8日に株式会社ダイセルと“健康(ヘルスケア)、安全・安心、便利・快適、環境”の4つの事業領域において、まだ世の中にない新たな価値を共創して社会実装に繋がる研究、人材育成、地域連携等について、相互に協力し、双方及び地域社会の発展に寄与することを目的に包括連携協定を締結しました。

その一環として、令和6年10月から化学系教育専攻と独自の技術を保有する研究所が連携して、脱炭素社会の実演に向けた独自性ある教育プログラムを実践し、エネルギー変革を支える高度材料研究者の育成として、大学院自然科学教育部の私費外国人留学生をご支援いただく「ダイセル基金修学支援奨学金」が創設されました。



TSMC奨学金

令和6年3月に台湾の世界的半導体受託製造企業 Taiwan Semiconductor Manufacturing Company Limited(以下「TSMC」)と半導体分野の研究及び人材育成における産学連携に関する協定を締結しました。この一環として、半導体分野の人材確保が喫緊の課題となる中、その将来を担う人材の育成として、令和6年度から大学院自然科学教育部に在籍する博士前期課程1年生のうち、半導体関連の研究に従事する学生の修学をご支援いただく「TSMC奨学金」が創設されました。



..... 2024年(令和6年)受給者からの感謝の声

●このたびは給付型奨学金を支給していただき、心より感謝申し上げます。ご支援のおかげで、学業と研究に専念できる環境が整い、大変励みになっております。現在は流体工学を専攻しており、半導体の洗浄プロセスに関する研究に取り組んでいます。今後も精進を重ね、学んだ知識や経験を社会に還元できるよう努力してまいります。

(機械数理工学専攻機械工学教育プログラム 1年)

●このたびはTSMC奨学金を授与いただき、心より感謝申し上げます。本奨学金をいただけたことで、金銭的な不安が和らぎ、研究課題に集中することができました。また、学習に必要な教材や機材を揃えることが可能となり、学習の効率を向上させることができました。このように、研究に専念

できる環境を整えることができたことを大変ありがたく思っております。今後とも研究に励み、半導体分野の発展に貢献できるよう努めてまいります。

(情報電気工学専攻情報工学教育プログラム 1年)

●奨学金のおかげで、経済的な心配が減り、国内の学会だけでなく、国際学会にも参加することができ、研究に関して数多くの知見が得られました。また、国際学会での発表を通して、英語を使ったコミュニケーションに関して上達したと感じています。以上の経験は、私の目標である研究者になるうえで、必ず役に立つものであると確信しています。

(理学専攻物理科学コース 1年)



附属小150周年事業

熊本大学教育学部附属小学校同窓会では、創立150周年を記念して次の事業を実施いたしました。

校旗や体育祭優勝旗の新調 (祝賀会にて披露)



創立150周年ホームカミングデー・ 記念祝賀会の開催

令和6年11月16日14時よりホームカミングデーとして校舎を解放し、たくさんの方々にご来校いただきました。同日18時からANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイにて、323名が集い「創立150周年記念祝賀会」を開催しました。



創立150周年 記念式典音楽会開催

令和6年9月26日県立劇場において、声楽家である赤池優様(卒業生)と藤本史子様(ピアニスト)をお招きし、音楽会を開催しました。

このように、在校生・現PTA・現職員・卒業生・若鷹の会(旧PTA役員)・旧職員等同窓生、皆で熊本大学附属小学校の創立150周年をお祝いしました。



医学部医学科教育研究支援事業 (くま医もん基金)

熊本大学医学教育・研究基金
くま医もん基金

熊本大学医学部医学科は、豊かな人間性と高い倫理観を備え、医学及び関連分野における社会的使命を追求し達成できる人材の育成に努めています。そのために、科学的かつ独創的な思考力を養成し、医師として必要な基本的な知識や技術を習得させるとともに、生涯にわたって自己研鑽が続けられる人材の育成に力を入れています。

令和6年度においては、臨床実習に先立ち、臨床能力試験のために新たに医療用シミュレーターを導入いたしました。このシミュレーターを利用して、臨床実習に必要な知識、技能、態度を習得し、無事に試験に合格した医学生には、白衣授与式にて一人ひとりに白衣を授与いたしました。

その他、毎年度実施しています優秀な医学生への奨学金支援、講義棟のソファ、テーブルを新調し、医学生への支援を継続して実施しております。





肥後銀行イノベーション応援プログラム

県内の中小企業の皆様の研究開発を応援

本学熊本創生推進機構では、教員と地域企業との連携を推進していますが、地域の中小企業では研究予算が限られている場合もあることから、地域の中小企業との共同研究等の実施を推進するため、肥後銀行からご寄附いただきました肥後未来共創基金を原資とし、2021年度から熊本県内の中小企業と共同研究等を実施する際の資金的支援を実施させていただいております。

また、同時に地域の企業に向けた「マッチングプラン」として、研究開発を要望する企業を紹介いただき技術分野が合致する本学の研究者とマッチングすることにより、共同研究等に繋げる支援をいただいております。

今までの支援実績

2021年度	15件	993万円
2022年度	14件	1,000万円
2023年度	11件	597万円
2024年度	18件	1,203万円



熊本大学クラウドファンディング

多くのご寄附・ご支援をいただき、令和6年度は以下のプロジェクトが目標金額を達成しました。

プロジェクト名

[プロジェクト掲載先] <https://www.glocal-cf.com/project/jbokumadai>

日本生物学オリンピック 熊本大会 応援プロジェクト

募集期間：2024年3月13日～2024年8月15日
大学院先端科学研究部 教授 澤 進一郎

寄附総額 **853,000円** 寄附者数 **67名**



支援者からの
メッセージ

- 将来のライフサイエンス分野の第一人者を育成・輩出する取組に賛同し、微力ながら応援いたします。
- OGの母です。貴重な体験をさせていただきありがとうございます。次世代にエールを贈ります。
- 生物学オリンピック卒業生のものです。選手たちが最高の環境で本選を受けられるように願っております。
- 生物学オリンピックを通じて、未来の生物科学者がたくさん育つことを期待しています。
- 熊本の夏と若さをお腹いっぱい楽しんで実力以上を発揮できますように！
- 本選出場者たちの一生の思い出になるような熊本大会にしてください。
- 生物学オリンピックを通じて、未来の生物科学者がたくさん育つことを期待しています。
- サイエンスの未来を担う皆さんを応援しています！

感謝状贈呈式

株式会社ダイセル様へ特別栄誉会員の称号と感謝状を贈呈しました

本学の発展のために熊本大学基金に多額のご寄附を賜りました株式会社ダイセル様に対して、令和7年3月21日、熊本大学基金特別栄誉会員の称号と感謝状の贈呈式を開催いたしました。

ダイセル様から賜りましたご寄附により、エネルギー変革を支える高度材料科学者の育成として、大学院自然科学教育部の私費外国人留学生を支援する「ダイセル基金修学支援奨学金」を創設いたしました。また、衝撃実験棟の改修工事費用と全学事業にもご寄附をいただき、本学の教育研究環境を整えるための支援等に使用させていただいております。



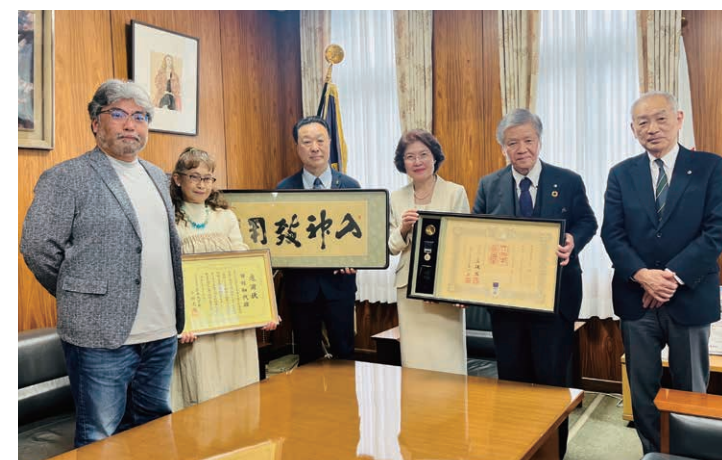
1列目左から、株式会社ダイセル小河社長、熊本大学小川学長
2列目左から、株式会社ダイセル坂野専務、塩飽専務、熊本大学留学生4名、富澤理事、大谷理事



熊本大学基金感謝状

記念品(扁額：勝海舟の書「入神致用」)

紺綬褒章伝達式及び特別栄誉会員への感謝状贈呈式を行いました



左から、浪平准教授、船坂道子様、船坂英彦様、田村知代様、小川学長、大谷理事



紺綬褒章 章記伝達

ご歓談

本学の発展のために熊本大学基金に多額のご寄附を賜りました田村知代様に対して、紺綬褒章※が授与されたことに伴い、令和7年3月26日、本学において同褒章の伝達式及び熊本大学基金特別栄誉会員の称号と感謝状の贈呈式を開催いたしました。

田村様から賜りましたご寄附は、産業ナノマテリアル研究所 浪平准教授のアニサキスに関する研究及び本学の教育研究環境の支援等に使用させていただきます。

※紺綬褒章は、国の褒章制度のひとつで、公益のために多額の私財を寄附した方に授与される褒章です。熊本大学は、内閣府賞典局より紺綬褒章「公益団体」として認定を受けています。熊本大学基金にご寄附をいただき、推薦要件に合致している方について、本学から推薦させていただいております。

Giving Campaign 2024

100大学が参加した、学生による資金調達イベント「Giving Campaign 2024」において、多くの応援・ご支援をいただき、100大学中2位の成績を収めました。



応援投票数 **15,047名**
寄附総額 **3,257,783円**
寄附者数 **399名**



<https://kumamoto-u.2024.giving-campaign.jp/>

学生団体からの御礼



熊本アカペラサークル
Higo-Pella

学内1位という結果を残すことができ、本当にうれしく思っております。いただいた支援は、今後のサークルの発展に寄与させ、アカペラの魅力を熊本大学から発信できるようなサークルとなるために活用させていただきます。支援いただいたすべての方に感謝いたします。本当にありがとうございました。

 応援数 ランキング	1位 熊本アカペラサークル Higo-Pella	2,404票
	2位 応援団チアリーダー部	2,321票
	3位 紫熊祭実行委員会	1,672票
	4位 ボート部	1,153票
	5位 体育会吹奏楽部	728票



応援団チアリーダー部

この度は熊本大学応援団チアリーダー部にご投票とご寄附をいただきまして、誠にありがとうございました。頂戴した寄附金は、練習環境の整備や遠征費の支援に大切に使用させていただき、部の戦績の向上を目指して日々精進いたします。また、チアリーダーとしての精神と姿勢を忘れずに、この機会に応援をしてくださった皆さまを今後は”Cheer”し、感謝を伝えて参ります。



紫熊祭実行委員会

熊本大学紫熊祭を応援してくださった全ての皆様、本当にありがとうございました。予想以上の投票や寄附をいただき、実行委員一同心より感謝しております。皆様からのご支援を、学園祭の充実に反映させられるよう、これからも精いっぱい活動してまいります。また、紫熊祭は毎年11月初めに3日間を通して開催しております。皆様に楽しい時間を過ごしてもらえるよう、様々な企画を準備しておりますので是非お越しください。

Giving Campaignとは？

学生の研究活動や課外活動の応援・支援を目的に、学生が主体となって支援を募る日本最大級のオンラインチャリティーイベントです。

イベントでは、応援したい学生団体への投票に加え、応援メッセージ、支援したい団体への寄附など、様々な形で頑張る学生を応援することができます。

また、期間中に獲得した「得票数」を参考に協賛企業から協賛金が分配され、いただいた寄附金とあわせて学生団体の活動費等に活用されます。



ボート部

Giving Campaign2024において、熊本大学ボート部へ寄附という形でご協力していただき、心より御礼申し上げます。部員が皆、精一杯活動できているのも、皆様のご協力のおかげです。今回のイベントを通して、皆様と協力して投票数を伸ばし、現役部員が少ないながらも大学内4位を獲得することができたこと、応援メッセージや応援の投票をたくさんしていただいたこと、大変なこともありましたが、私たちにとって励みになることばかりでした。部員一同、重ねて御礼申し上げます。



体育会吹奏楽部

この度は「Giving Campaign2024」におきまして、熊本大学体育会吹奏楽部にご寄附を頂戴いたしましたこと、心より御礼申し上げます。いただいた寄附金は、楽器の修繕費や演奏会に参加するための遠征費など、当部活の活動資金として大切に使用させていただきます。この度のご厚意を大切に、今後も私どもの演奏を通してお客様に笑顔をお届けられるよう、これまで以上に愛される部活であるよう、部員一同、一丸となって精進してまいります。

サークルへのご寄附に関する御礼

応援団リーダー部

この度は基金のご支援ありがとうございました。皆様のご支援のおかげで熊本大学応援団は2024年度、問題なく活動することができました。昨年度は練習で使用するジャージを基金により制作させていただきました。活動に一体感が生まれ、練習がより一層身に入ります。これからも私どもの活動を応援していただけると大変嬉しいです。

詳細はこちら

本大学公認サークルとして
65団体が活動中です。
学生へのご支援をお待ち申し上げます。



ご寄附をいただいた企業様の想い

※会社名の五十音順・敬称略にて掲載させていただきます。

社会医療法人愛育会 福田病院

【住所】 熊本県熊本市中央区新町2-2-6 【ホームページアドレス】 <https://www.fukuda-hp.or.jp/>

福田病院は地域周産期母子医療センターの役割を担っており、熊本大学と連携し、専門医療の充実を目指しています。歴史や文化、伝統をつないで努力されている皆様の一助となれば幸いです。これからのご活躍をお祈りいたします。



医療法人伊東会 伊東歯科口腔病院

【住所】 熊本県熊本市中央区区銅本町4番14号 【ホームページアドレス】 <https://www.itoh-dh.or.jp/>

大学のグローバル化が進展する中で、当院は地域貢献として、今後も微力ながらご支援させていただきます。そして熊本大学が国際的に益々認知され、多くの優秀な人材を輩出されるようご祈念申し上げます。



熊本城内 加藤神社

【住所】 熊本県熊本市本丸二番一号 【ホームページアドレス】 <http://www.kato-jinja.or.jp/>

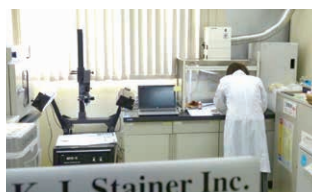
大学で出会う学びと人との縁は一生の宝物です。微力ながら応援させていただきます。大学・大学同窓会のさらなる発展を心より祈念いたします。



株式会社ケイ・アイ・ステイナー

【住所】 熊本県熊本市中央区黒髪2-39-1 【ホームページアドレス】 <https://www.kistainer.co.jp/>

熊本大学のさらなる発展に期待しております。素晴らしい研究の進展や優秀な人材育成に微力ながらご活用頂き少しでも貢献できれば幸いです。



KMバイオロジクス株式会社

【住所】 熊本県熊本市北区大塚1-6-1 【ホームページアドレス】 <https://www.kmbiologics.com/>

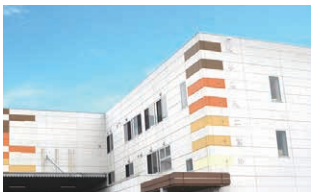
KMバイオロジクスは熊本大学と包括的連携協定を締結し、ワクチン開発研究連携等を行っています。この度の寄附が学生の皆様の一助となれば幸いです。



有限会社坂本石灰工業所

【住所】 熊本県玉名市下273-1 【ホームページアドレス】 <https://sakamoto-lime.com/new/>

中小企業には大企業に負けない利点があることを知っていますか？それは社員第一主義です。突出した技術を持つ企業は自分の能力を活かすにもってこいです。健康と意志がある限り年齢に関係なく活躍できます。あなたは「鶏口となるも牛後となる勿れ」と「寄らば大樹の陰」のどちらを選びますか？地元中小企業にも目を向けてください。



Japan Advanced Semiconductor Manufacturing株式会社

【住所】 熊本県菊池郡菊陽町大字原水4106番地1 【ホームページアドレス】 <https://www.tsmc.com/static/japanese/careers/jasm/index.html>

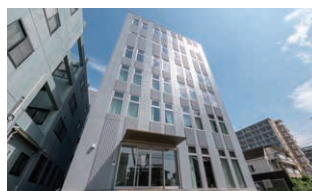
学生時代の自由な発想、Innovativeな研究は人生においてとても貴重な時間です。大学で育まれる多様な才能と視点に大きな期待を寄せ、寄附という形をとりました。皆様の大胆なアイデアが明日を形作ります。是非、新しい可能性を探索し、現状に挑戦してください。



医療法人杉村会 杉村病院

【住所】 熊本県熊本市中央区本荘3-7-18 【ホームページアドレス】 <https://sugimurakai.jp/>

杉村病院を開院した祖父の母校であり、歴史と伝統ある熊本大学様の研究や教育に微力ながら一助になればと思ひ寄附させていただきました。末永く友好的な御関係が築ければと切に願っております。よろしく申し上げます。



そのだ脳神経外科 消化器内科

【住所】 熊本県熊本市東区画図町所島135-1 【ホームページアドレス】 <https://www.sonoda-clinic.com/>

最近熊本大学が多方面にわたり発展的变化を遂げている様に思っています。卒業生としては嬉しい限りですが、今後我が国は少子化が更に進み国力の低下が懸念され、大学の運営にも支障が出るでしょう。小川学長の手腕に期待しています。



株式会社ダイセル

【住所】 大阪府大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪タワーB 【ホームページアドレス】 <https://www.daicel.com/>

弊社は2023年に熊本大学と包括連携協定を締結し、知識と技術の融合を図ることで、新たな価値を共創し、研究、人材育成、地域連携など相互協力し、双方及び地域社会の発展に寄与することを目指します。



堤化学株式会社

【住所】 熊本県熊本市北区大塚2-8-6 【ホームページアドレス】 <https://tsutsumi-chem.co.jp/>

熊本大学のさらなる発展のためにバイオサポーターとして応援します。寄附は継続して続けていきたいと思ひます。



東京エレクトロン九州株式会社

【住所】 熊本県合志市福原1-1 【ホームページアドレス】 <https://www.tel.co.jp/>

学生の皆さんが将来に希望を持ち、夢と活力をもった大学生活を過ごされるよう、これからも応援していきます。



株式会社肥後銀行

【住所】 熊本県熊本市中央区練兵町1番地 【ホームページアドレス】 <https://www.higobank.co.jp/>

貴学との連携協定締結後、「産学官金」連携による様々な取組みを実現できたことを大変有り難く思っております。今後も、熊本のより良い未来を創造する取組を学生や研究者の皆様と共に進めてまいります。



株式会社ヒライ・コンサルタント

【住所】 熊本県熊本市東区御領5丁目5-26 【ホームページアドレス】 <https://www.hirai-consul.co.jp/>

地元の建設コンサルタント会社として、これからも熊本のインフラ整備と老朽化対策のお役に立ちたいという思いがあります。熊大卒業生も在籍する地元企業として、熊本大学の発展に少しでもお役に立てればと思います。



株式会社明和不動産

【住所】 熊本県熊本市中央区幸島町4-35 【ホームページアドレス】 <https://www.meiwa.jp/>

ささやかながら本年も寄附を継続させて頂きました。熊本大学で学ばれる皆様、夢や希望に向かって充実した学生生活を過ごされる一助となれば幸いです。よりよい次代を切り拓き、多方面でご活躍されることを心より応援しております。



医療法人山部会 くまもと成城病院

【住所】 熊本県熊本市北区室園町10-17 【ホームページアドレス】 <https://www.k-seijo.or.jp/>

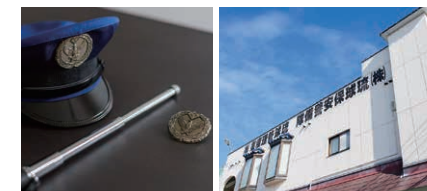
小川学長のもとで熊本大学が大きく発展されることを期待しています。また、学生の皆さんへの援助の一助になれば幸いです。微力ながら、今後も熊本大学を応援していきます。医療法人山部会 くまもと成城病院 病院長 増田 武信



株式会社琉球保安警備隊

【住所】 沖縄県沖縄市与儀1-7-5 【ホームページアドレス】 <https://www.keibitai.com/>

学生の皆さんが学問に専念できる環境作りの手助けができたかと思ひ今回も寄附させていただきました。学ぶ事に専念し、皆さんの努力が報われて素晴らしい人生を歩めるよう願っております。



ネーミングライツ事業（現在契約中）

ひご未来図書館・HigoBank Learning Commons

施設等名 附属図書館中央館・アクティブエリア

事業期間 令和6年4月1日～令和9年3月31日

パートナー 株式会社肥後銀行



東京エレクトロン イノベーションプラザ／TOKYO ELECTRON Innovation Plaza

施設等名 イノベーションプラザ

事業期間 令和6年4月1日～令和11年3月31日

パートナー 東京エレクトロン九州株式会社



VOLTERS GX

施設等名 渡鹿体育館

事業期間 令和6年4月1日～令和11年3月31日

パートナー 熊本バスケットボール株式会社



KDS コミュニティープラザ／KDS COMMUNITY PLAZA

施設等名 北地区学生会館A棟

事業期間 令和6年10月1日～令和11年9月30日

パートナー 株式会社KDS熊本ドライビングスクール



TKU×マイスティア カフェテリア／TKU×meistier cafeteria

施設等名 FORICO

事業期間 令和6年10月1日～令和11年9月30日

パートナー 株式会社マイスティア 株式会社テレビ熊本



KMバイオロジクス体育館／KM Biologics Arena

施設等名 大江体育館

事業期間 令和6年12月1日～令和11年11月30日

パートナー KMバイオロジクス株式会社

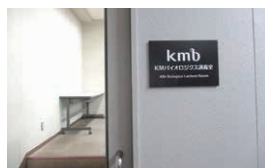


KMバイオロジクス講義室／KM Biologics Lecture Room

施設等名 医学教育図書棟(第1講義室)

事業期間 令和6年12月1日～令和11年11月30日

パートナー KMバイオロジクス株式会社



くまトヨ講義室／KumatoyoLectureRoom・くまトヨロビー／KumatoyoLobby

施設等名 文法学部本館(A2講義室・学生ロビー)

事業期間 令和6年12月1日～令和11年11月30日

パートナー 熊本トヨタ自動車株式会社



アネシスラウンジ／ANESIS Lounge

施設等名 工学部1号館(リフレッシュホール6F-W・リフレッシュホール6F-E)

事業期間 令和7年3月1日～令和12年2月28日

パートナー 株式会社アネシス



アカリクラウンジ／Acaric Lounge

施設等名 共用棟黒髪7(ラウンジ1・ラウンジ2・ウッドデッキ)

事業期間 令和7年3月1日～令和12年2月28日

パートナー 株式会社アカリク



熊本大学 Topic's

ネーミングライツパートナー募集

熊本大学の施設に愛称の付与や企業名、商標名、企業ロゴ、シンボルマークなどによるサイン等の掲載を行うことができます。

特定の施設等について公募を行う「施設指定型」「スペース指定型」と、いつでも提案をお待ちしている「提案指定型」をご用意しております。企業活動の宣伝や、リクルートなどPRツールの1つとして、是非ご活用ください。



詳細はこちら



2026年、学部に対応する組織として『共創学環』を設置します ～つなぐ、ひろがる、きりひらく～

現代社会には人口減少や経済的格差など、早期に解決することが困難な課題が数多く存在し、これらの課題解決には、社会を構成する多数の人たちが協力し解決へと導く大きな力を生み出し、持続可能な社会を共に創ることが重要となります。

2026年、本学において学部に対応する組織として設置を計画している『共創学環』では、「地球規模の視野と地域の視点で考え行動し、共生共創する地域をデザインできる課題発見・設定・解決型人材並びに社会イノベーションを創出する人材の養成」を目的とし、地域社会から国際社会に至るさまざまな社会課題を見だし、実践を通じて課題解決に導くために必要な知識・スキルを身に付け、さらに、実際の社会で実践・展開し、持続可能な社会の実現に向けてイノベーション(社会変革をもたらす新しい価値)を創り出す人材を育成します。

共創学環に「地域イノベーションコース」と「グローバルイノベーションコース」を置き、文学部、法学部、理学部、工学部と連携した分野横断・文理融合型のカリキュラムを編成し、「経営・マネジメント」、「コミュニケーション」、「データサイエンス」の知識・スキルや特定の専門分野にとどまらない「学際的な専門知識・多面的な思考力」、さら

に、自治体や経済団体、金融機関等と連携して課題解決に取り組み、「社会実践力」を身に付けます。

地球規模の視野と地域に根ざした視点で、文理の知を融合し、周囲を巻き込み、持続可能な社会を共に創り出すことに取り組みます。

※新学部組織設置構想については、今後、文部科学省大学設置・学校法人審査会の審査を受ける予定です。構想は、審査結果によって確定するものであり、変更の可能性があります。

詳細はこちら



国立大学附属学校 全国初の「国際クラス」を新設 ～国際社会を生きる子供の新たな学び～

熊本大学教育学部附属学校では、令和8年度(2026年)から国際クラスの開設を予定しています。国際クラスでは、日本の学習指導要領に沿って、多くの教科等の授業を英語で学ぶ、いわゆる英語による「イメージ教育」を行う予定です。

この国際クラスで実施予定の英語イメージ教育では、英語能力の習得と教科等の学びの充実を同時に目指します。日本人及び外国人の児童生徒からなる学級編制を想定しており、日常の中で英語を使う場面が自然と生まれることとなります。

また、日本人とネイティブの外国人教師が二人体制で授業を行い、必要に応じて日本語も併用し、身に付けさせたい資質・能力の育成を目指し、きめ細やかな指導を行います。

詳細はこちら



遺贈によるご寄附について

遺贈とは、遺言により所有されている資産を特定の団体等へ無償で贈与することをいいます。人生最後の社会貢献として、大切な財産を地域のため、次世代の育成のために生かしてほしいというご遺志にお応えできるよう、本学では遺贈による寄附制度を設けています。協定銀行のご紹介など、ご意向に沿った遺贈を実現するためにご支援させていただきますので、まずは熊本大学基金運営室までご相談ください。



1 税制上の優遇措置

熊本大学へのご遺贈または相続財産からのご寄附は、原則として相続税が非課税となります。

2 次の世代へ未来を託す

ご遺贈いただいた財産について、後世を担う学生・研究者への教育・研究活動の支援など様々な分野において活用いたします。なお、用途をご指定いただくことも可能です。

3 お名前と想いを、後世へ

一定額以上のご寄附をいただいた方に感謝の意を込めて、ご芳名を寄附者銘板に刻銘し、末永く顕彰します（希望者のみ）。また、奨学金、建物の建設、寄附講座の設置等で一定額以上ご寄附される場合は、ご芳名を冠することができます。

銀行と連携したご遺贈の流れ

まずは熊本大学に相談 TEL:096-342-3129

熊本大学

協定銀行をご紹介します

熊本大学への連絡を省略し、直接、以下の協定銀行へご相談いただいても結構です

- | | |
|-----------------------------|------------------|
| ● 肥後銀行 プライベートバンキングプラザ | TEL:0120-1589-15 |
| ● 三井住友信託銀行 熊本支店 財務コンサルタント | TEL:096-355-3211 |
| ● 三井住友信託銀行 熊本中央支店 財務コンサルタント | TEL:096-353-3101 |

協定銀行

- | | | |
|---|--|--------------------------------------|
| ● 遺贈を含む遺言書作成に関する受付・ご相談
遺言書の文案作成等について無料でご相談をお受けします。 | ● 遺言書作成
銀行との事前のご相談に基づいて、公証役場にて公正証書遺言をご作成ください。 | ● 遺言書の保管及び管理
● 遺言内容の執行手続き
ご逝去後 |
|---|--|--------------------------------------|

熊本大学へのご寄附

相続人・受遺者への遺産配分

熊本大学を支援する

税制優遇措置が適用されます

全ての事業（一般資金）

デジタル化やグローバル化等の進展により直面する多くの複雑で困難な課題の解決に向けた社会変革の原動力となるため、地域と世界に開かれ、共創を通じて社会に貢献する教育研究拠点大学を目指して取り組んでいる様々な事業（全学的な教育・学生支援、国際共同協力、地域貢献・社会貢献活動及びキャンパス環境整備、キャンパスミュージアム等）に充てられます。

詳細はこちら



地域と世界に開かれ、共創を通じて社会に貢献する教育研究拠点大学

Vision

2030年に向けて

九州の中核的総合大学として
国・地域・分野
様々な枠組みを飛び越え
SDGsの達成を目指す



全学事業

Pick up

- 修学支援事業
- 附属図書館支援事業
- 永青文庫史料整備事業
- 文書館支援事業
- 五高記念館周辺環境整備事業
- 肥後未来共創基金

修学支援事業とは

修学支援事業は、経済的な理由で修学が困難な学生に対して、修学に必要な経済的支援を行うことを目的としています。意欲と能力がある学生が希望する教育を受けられるよう修学支援金として活用します。対象となる事業は、次のとおりです。

- 授業料、入学科及び寄宿料の全部または一部を免除する事業
- 学資金を貸与、または支給する事業
- 学生の留学に係る費用を支援する事業
- 学生の資質を向上させることを目的として、学生を教育研究に係る業務に雇用する経費を支援する事業

優遇性の高い税額控除が適用できます

学部・教育部等教育研究支援事業

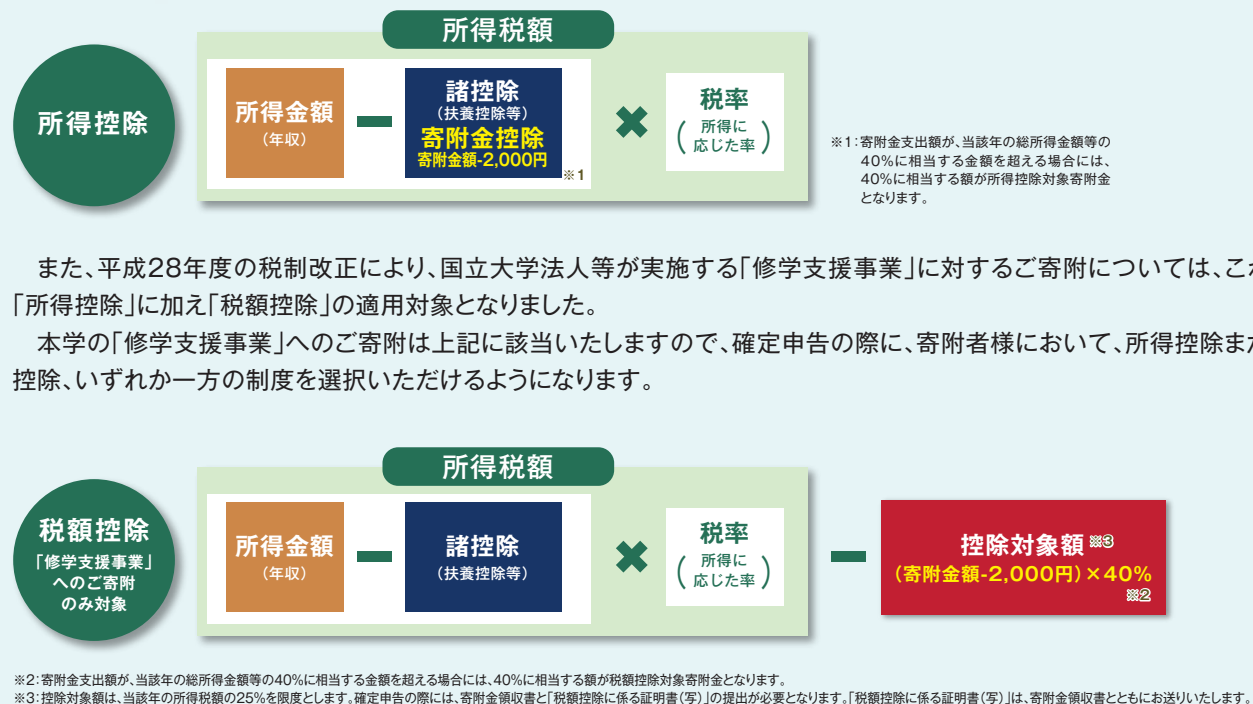
- | | | |
|---------------------|------------------------------------|-----------------------|
| ● 文学部教育研究支援事業 | ● 医学部医学科教育研究支援事業（医学教育・研究基金—くまもん基金） | ● 薬学部熊本ファーマバレー事業 |
| ● 法学部教育研究支援事業 | ● 医学教育部教育研究支援事業（柴三郎プログラム） | ● 工学部教育研究支援事業 |
| ● 武夫原教育・研究支援基金 | ● HIGOプログラム教育研究支援事業 | ● 自然科学教育部教育研究支援事業 |
| ● 社会文化科学教育部教育研究支援事業 | ● 医学部保健学科教育研究支援事業 | ● 発生医学研究所教育研究支援事業 |
| ● 教育学部教育研究支援事業 | ● 薬学部教育研究支援事業 | ● 病院診療教育研究支援事業 |
| ● 教育学部附属学校園教育支援事業 | ● 薬学部キャンパス薬草パーク事業 | ● その他事業（特定のサークル等への寄附） |
| ● 教育学部まじきプロジェクト事業 | | |
| ● 理学部教育研究支援事業 | | |

税制上の優遇措置

① 個人様

1. 所得税の軽減

「熊本大学基金」への寄附金については、所得税法上の寄附金控除の対象となる特定寄附金(所得税法第78条第2項第2号)として財務大臣から指定されています。寄附金の額が年間合計で2千円を超える場合、確定申告をすることにより、寄附金額(総所得金額の40%が上限)から2千円を差し引いた額が課税所得から控除されます。



2. 住民税の軽減

お住まいの自治体の条例で、本学が「寄附金税額控除対象法人」に指定されている場合は、個人住民税の優遇措置が適用されます。詳細は、お住まいの都道府県及び市区町村の税窓口にお問い合わせください。

② 法人・団体様

本学は、財務大臣から、指定寄附金(法人税法第37条第3項第2号)の指定を受けていますので、全額を事業年度の損金に算入することができます。

ファンドレイザーを配置しました

熊本大学基金をより多くの皆様に知っていただくために、令和2年(2020年)7月からファンドレイザーを配置しました。継続的な学生支援・研究推進のための財源確保を行うことを目的とし、熊大サポーターの輪を広げるために活動しています。



これまでの経験や人脈等を生かし、ファンドレイザーとして、熊本大学のサポーターの輪を広げる活動をしています。

熊本大学と、ご支援くださる皆様とをつなぎ、熊本大学の発展に貢献してまいります。

今後とも、あたたかいご支援を、どうぞよろしくお願いいたします。

ファンドレイザー 田村 安都子

ファンドレイザーとは?

団体などのファンドレイジング(資金調達)を専門に行う職業のことです。その仕事内容は、資金調達だけに留まらず、営業や広報、マーケティングなど多岐に渡り、「大学」と「大学のビジョン」や活動内容に共感し、それを応援したい方々」とをつなぎ、関係者の輪を広げていく役割も担っています。

寄附について

● 遺贈による寄附制度

資産の一部を、将来、遺言によりご寄附されたいという方への制度がございます。制度のご利用を希望される場合は、本紙「お問い合わせ先」までご連絡ください。

● 古本募金



本募金は皆様の読み終えた本や不要になったCD・DVD・ゲーム機を、大学が提携する取扱業者にお送りいただき、その売り上げを大学への寄附金として募金していただくものです。寄附金は、学生の教育活動への支援金として役立たせていただきます。

<https://www.charibon.jp/partner/kumamoto-u/>



● ご寄附の方法

<https://kikin.jimu.kumamoto-u.ac.jp/howto/>



Webサイトの「寄附申込フォーム」で必要事項をご入力の上、お申しいただけます。最後の画面でお振込先が表示されますので、そちらの口座までお振り込みください。
※別途お振込の手続きが必要になります。



Webサイトから「寄附申込書」をダウンロードして記入後、郵送、FAXまたはメールでお送りください。折り返し、「払込用紙」をお送りいたします。
※ゆうちょ銀行以外でのATMからのお振込は出来ません。



Webサイトの「クレジットカードによるご寄附のフォーム」で必要事項をご入力の上、お申込みください。
※クレジット会社を経由するため大学への入金は約1～1.5ヶ月後となります。

【クレジットカードによるご寄附について(ご注意)】

確定申告時に必要となります「寄附金領収書」に記載する日付は大学への入金日となりますので、予めご承知ください。特に、11月～12月にクレジットカードによるご寄附をされる場合、「寄附金領収書」の日付が翌年となる場合がありますので、ご注意ください。

Web サイトについて

基金に関する情報は、Webサイト上で随時更新しています。ご寄附の方法や各事業の詳細については、Webサイトでご確認ください。

ここを
click!



▲ 各事業の詳細はWebサイトでご確認ください。
<https://kikin.jimu.kumamoto-u.ac.jp>

紺綬褒章

ご寄附が、個人様500万円以上、法人・団体様1,000万円以上の場合は、国の褒章制度である「紺綬褒章」の対象となります。「お問い合わせ先」までご連絡ください。 ※国の審査があります。

Webサイト及び熊大広報誌掲載

熊本大学基金Webサイト及び季刊の大学広報誌「熊大通信」にご芳名を掲載させていただきます(掲載希望者のみ)。なお1回あたりのご寄附が1万円以上の場合は、寄附金領収書とともに「熊大通信」をお送りします。

2024 年度 寄附者様のご芳名

ご寄附をいただきました個人、法人・団体の皆様のご支援とご協力に厚く御礼申し上げますとともに、感謝の意を込め、ここにご芳名を掲載させていただきます。皆様の更なるご支援とご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

※お名前・寄附金額の公開の許可をいただいた方のみ、寄附金額別、五十音順、敬称略にて掲載させていただきます。 ※()内の数字は、累計寄附金額(万円)、[]内の数字は、累計寄附回数(回目)です。

令和 6 年(2024年)4月

お名前・寄附金額の掲載

30万円	井上 俊輔(70)	重松 作治(30)
20万円	医療法人社団誠心会(20)	
10万円	有限会社原田写真場(15)	
5万円以下	伊豆 智明(0.5)	澤田 貴彰(0.5)
	前田 康裕(0.5)	前野 正春(1)
	松尾 澄人(0.5)	宮本 真次(10.1)
	矢原 幸治(7)	渡辺 清吉(9.5)

お名前のみ掲載

池邊 利昭[1]	伊藤 英範[1]	伊藤 雅浩[1]	井上 真紀[1]
今村 直寛[1]	入江 展史[2]	岩尾美奈子[1]	岩村 徹[1]
大井 浩史[6]	大森 幸人[1]	岡本 哲夫[4]	柏尾 俊明[3]
神崎 芳郎[12]	木村 純久[12]	草野 龍二[18]	久保田健治[3]
坂本 幸樹[1]	柴山 佳夫[10]	志波 典明[2]	世良喜久子[2]
平 博子[1]	高柳 隆大[1]	田川 健一[2]	棚町 里美[1]
中村 利男[1]	中村 能久[1]	名越 究[1]	西橋 正廣[1]
野口健一郎・恭子[7]	濱本竜一郎[1]	平川 尚子[1]	藤井 杏鳳[1]
二塚 信[18]	正永 顕証[1]	舩田 斉子[1]	松山 鎌志[1]
宮崎 敬一[2]	宮本 恭子[3]	村上 正祐[1]	米納 正剛[1]

お名前・寄附金額の掲載を希望されなかった寄附者の皆様

個人79名、1法人・団体

令和 6 年(2024年)5月

お名前・寄附金額の掲載

20万円	北里 敏明(44)	桑野 幸徳(622)
10万円	大久保弘人(35)	宮尾千加子(41)
5万円以下	近藤 光弘(6)	櫻井 貴浩(2)
	土亀 直俊(23)	野口 和紀(1)
	宮本 真次(10.4)	本島 昭男(30)

お名前のみ掲載

岩下 仁[1]	上田 公幸[1]	上塚浩一郎[1]	大迫 聖子[4]
岡村 怜・理仔・依令奈[1]		桂木 芙美[1]	楠田 靖紀[4]
後藤佑佳子[1]	斉藤 和人[5]	坂口 隆夫[2]	佐藤 俊幸[2]
澤田 寛旨[1]	島木 浩次[1]	陣内 寿子[1]	杉山 壽夫[1]
高宗 俊雄[8]	竹本久美子[2]	谷 正之[1]	田上将太郎[1]
千島 英一[10]	林 真実[1]	藤岡 明[1]	松尾 誠[1]
矢島 裕子[1]	山田 孝吉[10]	吉田たえ子[1]	
宗教法人加藤神社[1]		深野酒造株式会社[1]	
葉草パーク観察会参加者有志一同[13]			

お名前・寄附金額の掲載を希望されなかった寄附者の皆様

個人42名、6法人・団体

令和 6 年(2024年)6月

お名前・寄附金額の掲載

50万円	株式会社久仲工建(600)	
20万円	眞鍋 治彦(20)	
10万円	倉津 純一(42)	
5万円以下	岡島 寛(52)	小貫 治朗(7)
	宮本 真次(10.7)	庄田 暁生(2)

お名前のみ掲載

秋吉 晴彦[1]	池田 祐志[2]	井坂 和義[1]	井上 裕久[1]
今永 一成[1]	今村 典剛[1]	大平 慎一[2]	坂本 理紗[1]
須藤 聡[1]	橘 寛司[1]	傳 心春[1]	西 浩司[1]
波多野恭行[34]	春田 昭一[1]	平山 依菜[1]	増永 純夫[1]
村上 朝一[1]	森 司朗[1]	山本英一郎[1]	吉野 孝博[1]
医療法人杉村会[3]		株式会社琉球保安警備隊[2]	
有限会社坂本石灰工業所[5]			

お名前・寄附金額の掲載を希望されなかった寄附者の皆様

個人27名、1法人・団体

令和 6 年(2024年)7月

お名前・寄附金額の掲載

200万円	熊本大学医学部保健学科同窓会(400)	
5万円以下	石丸 壽朗(1.5)	佐藤志保子(1)
	中野 衣里(0.5)	坂東 依未(0.5)
	村瀬 弘幸(6.1)	安田 一郎(0.5)
	渡邊 勉(6)	安田 征司(0.5)

お名前のみ掲載

安倍 昂洋[3]	大江 捷也[1]	大江 美智[1]	大江 祥生[1]
大多和信子[1]	上城 洋一[7]	菊川 正昭[1]	草野 龍二[19]
児倉 静二[20]	眞田 功[4]	鈴木晋太郎[1]	土井 雅雄[1]
波多野恭行[35]	福田 俊幸[9]	二塚 信[19]	

お名前・寄附金額の掲載を希望されなかった寄附者の皆様

個人42名、2法人・団体

令和 6 年(2024年)8月

お名前・寄附金額の掲載

100万円	渡邊 裕一(100)	
50万円	山田 和彦(230)	
	株式会社ケイ・アイ・ステイナー(150)	
10万円	尾原 祐三(51.1)	
5万円以下	池田 勇(10)	古崎新一郎(5)
	宮本 真次(11.2)	田中賢一郎(2)

お名前のみ掲載

井上 誠一[3]	岡本 哲夫[6]	奥 輝之[1]	河村 久幸[6]
木村 純久[13]	木村 英美[2]	黒田瑠美子[2]	古閑 孝之[3]
永井 陳雄[5]	波多野恭行[36]	深田 章[2]	宮本 敦浩[1]
村上 俊樹[1]	吉本 寛治[2]	株式会社新井組[1]	
株式会社ルフトテックサービス[2]		KM/バイオロジクス株式会社[5]	
シモダ印刷株式会社[4]			

お名前・寄附金額の掲載を希望されなかった寄附者の皆様

個人30名、2法人・団体

令和 6 年(2024年)9月

お名前・寄附金額の掲載

100万円	徳永 修・司(107)	
50万円	熊本医学会(600)	
20万円	小川 久雄(100)	
10万円	清原由紀夫(112)	
	熊本大学医学部医学科後援会(2508)	
5万円以下	宮本 真次(11.5)	本島 昭男(30.5)

お名前のみ掲載

北島 美則[15]	北山 洋一[5]	倉澤剛太郎[4]	近藤 光弘[7]
坂井 洋子[9]	相良 勝郎[10]	戸上 勝喜[4]	原田 栄作[9]
藤井 慎嗣[3]	堀池 奈月[3]	堀野 敬[10]	本多 邦雄[15]
柳田 敏孝[18]	株式会社ダイセル[2]		
熊本大学医師会[7]	社会医療法人愛育会福田病院[10]		
日本中央競馬会[4]			

お名前・寄附金額の掲載を希望されなかった寄附者の皆様

個人38名

令和 6 年(2024年)10月

お名前・寄附金額の掲載

100万円	西田 治義(900)	堤化学株式会社(1110)
5万円以下	井上 明威(5)	鬼ヶ原浩二(7)
	長野 晋策(1)	宮本 真次(11.8)

お名前のみ掲載

荒川 勝徳[2]	一安 秀範[11]	衛藤 光明[22]	栗原 光江[1]
小池 啓子[1]	三枝 澄絵[1]	酒井 文典[1]	篠島 直樹[2]
島上 英治[1]	城間 盛昭[4]	田畑 隆介[1]	土井 英樹[2]
遠山 栄二[3]	長谷 政晴[3]	長山 琢磨[1]	鍋倉 康文[3]
波多野恭行[37]	平島健一郎[1]	福野 憲一[1]	丸野 陽一[9]
美並 朗[1]	村松 純子[1]	山田 恒雄[1]	米村 和広[7]
渡邊 圭祐[2]	医療法人公元会[1]		
株式会社明和不動産[3]			

お名前・寄附金額の掲載を希望されなかった寄附者の皆様

個人43名、3法人・団体

令和 6 年(2024年)11月

お名前・寄附金額の掲載

5万円以下	徳田洋一郎(1)	宮本 真次(12.2)
お名前のみ掲載		
宇野 浩治[1]	恵良 聖子[1]	落合 道夫[1]
川島 孝太[1]	北川 周子[1]	相良 勝郎[11]
園田 寛[6]	園田真美子[2]	苑田 裕樹[1]
戸塚 誠司[7]	橋本 賢一[1]	濱田佳奈子[1]
平島 幹大[1]	福村佳代子[10]	藤田 豊[2]
松岡 重孝[5]	田中康弘・澄子・八浪希代子[1]	吉田 文子[1]
東京エレクトロン九州株式会社[9]		

お名前・寄附金額の掲載を希望されなかった寄附者の皆様

個人31名、1法人・団体

令和 6 年(2024年)12月

お名前・寄附金額の掲載

348万円	熊本大学医学部医学科後援会(2856)	
10万円	大久保弘人(45)	大津敬一郎(290)
5万円以下	羽田 邦弘(1)	宮本 真次(12.6)

お名前のみ掲載

家村和千代[8]	上田 一生[8]	甲斐 敬志[1]	小池 基樹[1]
児倉 静二[21]	田代 恭平[1]	濱田 義明[1]	廣瀬 文子[1]
矢野恵美子[6]	山田 紀昭[1]	ワード弥生[1]	
株式会社ダイセル[3]		株式会社肥後銀行[11]	
Japan Advanced Semiconductor Manufacturing株式会社[1]			

お名前・寄附金額の掲載を希望されなかった寄附者の皆様

個人22名、1法人・団体

令和7年(2025年)1月

お名前・寄附金額の掲載

5万円以下		宮本 真次(12.9)			
お名前のみ掲載					
芥川 卓也[7]	荒井 澄子[12]	猪俣紘一郎[8]	片山 邦満[1]		
興侶 博次[6]	佐藤 久恵[1]	徳永 隆裕[6]	中村 裕一[2]		
波多野恭行[38]	三浦 裕一[1]	山崎 啓之[1]			
学校法人専門学校公務員ゼミナール熊本校[2]					

お名前・寄附金額の掲載を希望されなかった寄附者の皆様

個人18名

令和7年(2025年)2月

お名前・寄附金額の掲載

100万円	黒木 政秀(800)	桑野 幸徳(722)
50万円	熊杏会(2550)	
10万円	システム通信株式会社(10)	
5万円以下	宮本 真次(13.2)	
お名前のみ掲載		
今岡 義明[1]	入倉 充[2]	奥 輝之[2]
古閑 博幸[1]	鈴木 雄清[1]	仲道 雅輝[1]
南 正大[1]	宮原 俊之[1]	森田 淳子[1]
医療法人伊東会伊東歯科口腔病院[5]	株式会社ヒライ・コンサルタント[1]	

お名前・寄附金額の掲載を希望されなかった寄附者の皆様

個人27名

令和7年(2025年)3月

お名前・寄附金額の掲載

10万円	倉津 純一(52)
7万1千円	熊本県女性薬剤師会(51.2)
5万円以下	大野 剛(8)
	宮本 真次(13.4)
	渡邊 博志(6)
	熊本大学医学部医学科後援会(2859)

お名前のみ掲載

出雲 孝[1]	岩崎 竜之[1]	奥 輝之[3]	加藤 泰久[1]
川口 良彦[4]	岸本 直樹[3]	喜多 敏博[2]	木村 等[1]
合田 美子[1]	齋藤 秀之[1]	城野 博史[1]	都竹 茂樹[1]
徳淵 昭代[3]	野口 大誠[1]	野田 啓子[1]	林田 俊[1]
人羅菜津子[1]	山縣ゆり子[4]	米山あかね[1]	
医療法人社団谷口会[1]		株式会社ダイセル[4]	
株式会社TRADECREATE[1]		株式会社肥後銀行[12]	
株式会社リアサポート[1]		合同会社ステップ・ワン[1]	
ヘアーサロンSEED[1]			

お名前・寄附金額の掲載を希望されなかった寄附者の皆様

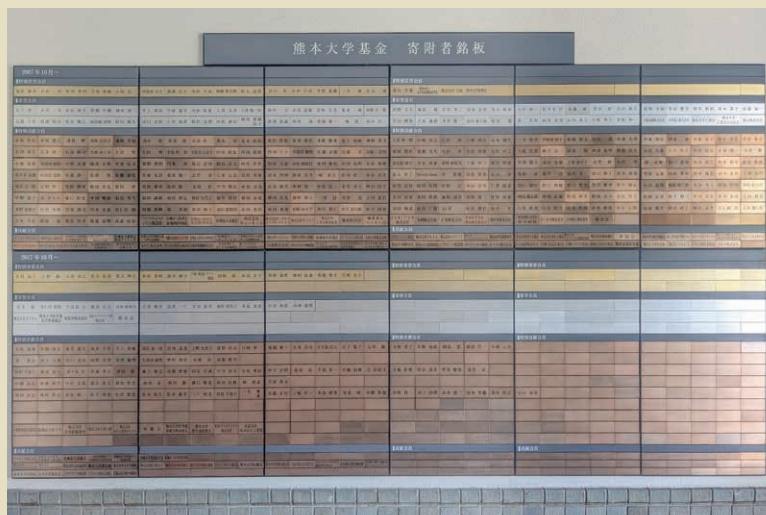
個人30名、5法人・団体

銘板による顕彰

寄附者様のご芳名を黒髪キャンパス(南地区)の本部棟玄関に設置の「熊本大学基金寄附者銘板」に刻銘し、末永く顕彰します。(希望者のみ)

なお、銘板への刻印は、寄附者様の会員資格(称号)が特別貢献会員(個人)、貢献会員(法人・団体等)以上を対象とします。

会員資格(称号)	銘板の種類	プレート(イメージ)	寄附累計金額	
			個人	法人・団体等
特別栄誉会員	ゴールド	寄附者名 (個人名または法人)	300万円以上	3,000万円以上
栄誉会員	シルバー	寄附者名 (個人名または法人)	100万円以上	1,000万円以上
特別貢献会員	ブロンズ	寄附者名 (個人名または法人)	20万円以上	200万円以上
貢献会員	ブロンズ(小)	寄附者名 (法人・団体等)	5万円以上	50万円以上
一般会員			5万円未満	50万円未満



熊本大学基金に関するお問い合わせ

熊本大学 基金運営室

〒860-8555 熊本市中央区黒髪2-39-1
TEL 096-342-3129、2029 FAX 096-342-3280
E-mail kuma-kik@jimu.kumamoto-u.ac.jp
U R L <https://kikin.jimu.kumamoto-u.ac.jp>



ファンドレイザー
田村 安都子

Tel.096-342-3804 FAX.096-342-3280
a-tamura@jimu.kumamoto-u.ac.jp

最新情報をお届け
～熊大の今～

熊本大学では、令和6年4月～メールマガジンの配信を始動!!
配信をご希望の方は、是非ご登録ください。

<https://www.kumamoto-u.ac.jp/whatsnew/koho/2024/20240401>

